

NEWS RELEASE

報道資料

2009年2月16日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ ソーラー発電を利用したカーボンフリー輸送のデモを披露

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO マイケル・スプリンター) は 2 月 12 日 (現地時間)、CO₂ を排出しない未来のカーボンフリー輸送のシミュレーションを、シリコンバレーにあるアプライド マテリアルズの研究所敷地内で実施しました。実験では、研究所駐車場に併設されたソーラー発電設備の電気供給システムに電気自動車を接続して充電を行いました。このソーラー発電設備は出力 2 メガワットで、米企業が保有する発電施設としては最大級です。このデモは、アプライド マテリアルズで開催された米中クリーンエネルギーフォーラムの一環として実施されたもので、再生エネルギー／代替燃料プロジェクトの協力強化と環境保全、エネルギー安全保障を推進する米国および中国からの参加者が実演を見守りました。

終日に及んだこの会合では、駐車場のソーラー発電設備や電気自動車、スマートグリッド技術、蓄電、高性能充電装置などを統合した最先端のソリューションが紹介されたほか、午後の円卓会議には米中の再生エネルギー業界から技術エキスパートが出席し、両国におけるクリーンな製造業の構築と雇用創出の機会について意見を交わしました。

アプライド マテリアルズのアプライド ソーラー部門プレジデント、チャーリー・ゲイは次のように述べています。「この会合は、シリコンバレーと米国が持つ最高のクリーンエネルギー技術にスポットを当てる絶好の機会となりました。米国も中国もエネルギーと環境について共通の課題を抱えています。ソーラー発電と電気自動車を融合すれば、よりクリーンで持続性のある未来型輸送を創出し、グローバルなクリーンエネルギー経済を推進して化石燃料への依存を抑制することが可能となります」

今日、米国と中国のエネルギー消費は世界の約半分を占めるうえ、両国の温室効果ガスの排出量はほぼ同量になっています。世界のエネルギー需要は増加の一途をたどっており、緊急にこれを解決する必要性が高まっています。米国では石油は主に輸送用の燃料に用いられ、石炭や天然ガスなどの化石燃料は発電に利用されています。したがって、輸送機関を電化すれば石油消費を大幅に削減できる可能性があり、さらに再生可能な電力を車両の

動力源にすれば、エネルギー自給と環境保護という目標達成に一段と近づくことができます。

米中クリーンエネルギーフォーラムは、クリーンエネルギー技術と代替燃料の米中協力について話し合う民間主導のハイレベルフォーラムです。フォーラムにはエネルギーや財務、公共政策のエキスパートが出席し、エネルギーの保全と効率的利用、環境保護、再生エネルギーという主要 3 分野の優先順位付けとソリューションの模索に取り組んでいます。アプライド マテリアルズは、フォーラム創立時から後援企業に名を連ねています。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する **Nanomanufacturing Technology™** ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ：<http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

このリリースは 2 月 12 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 12 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー
社長室：大橋 百合 (Tel: 03-6812-6801 / Fax: 03-6812-6831)
ホームページ：<http://www.appliedmaterials.com>
